

文化・人文社会科学利用パイロットミッション「宇宙庭」

1. 文化・人文社会科学利用パイロットミッションとは

宇宙に飛び出した人類は、その貴重な体験を通してさまざまな言葉を残し、「ふるさと」である地球、目の前に広がる広大な宇宙に対して、新たな視点を得てきました。

文化・人文社会科学パイロットミッションは、このような人類の創造力をかきたてる場として、地球・宇宙空間、そして国際宇宙ステーションを捉え、新たな芸術表現や文化的な価値を見出す活動です。各国に先駆けて、日本が立ち上げました。

2. 「宇宙庭」(21年度下半期実施)とは

実施テーマ／ 代表提案者	実施概要	期待される成果
宇宙庭 京都市立芸術大学 松井紫朗	・種子を入れた4つの栽培キットに10日に1回程度給水し、宇宙で宇宙飛行士が約2ヶ月間栽培する。	無機質な空間で、生きた庭を作ることで、自然に対する考え方、これまで人類が続けてきた文化的営為に対する畏敬を振り返り、人類と自然、人と植物、人と人の関係を宇宙からの視点で明らかにし、可視化する。
目的	・植物が生長した4つの栽培キットをつなげるなどして庭に見立て(作庭)、ハイビジョンカメラでその様子を撮影する。	映像作品を通じて、「人類にとって自然とは何か」という根源的な問いかけ、そして自然も含めた「地球そのもののかけがえのなさ」という価値観(自然観)を宇宙飛行士のコミュニケーションでアピールする。
「きぼう」における「宇宙庭」の作庭による自然観の創出。また、地上の庭との比較を行うことにより、人類と自然の関係、地球のかけがえのなさを浮き彫りにする。	・作庭時に、文化背景の異なる宇宙飛行士が自然観に対する考え方や庭に関する文化の違いについて議論する。	映像作品は、美術館等で展示予定。 ・平成21年9月～10月 ヨーロッパ写真美術館(パリ)で過去の成果を紹介

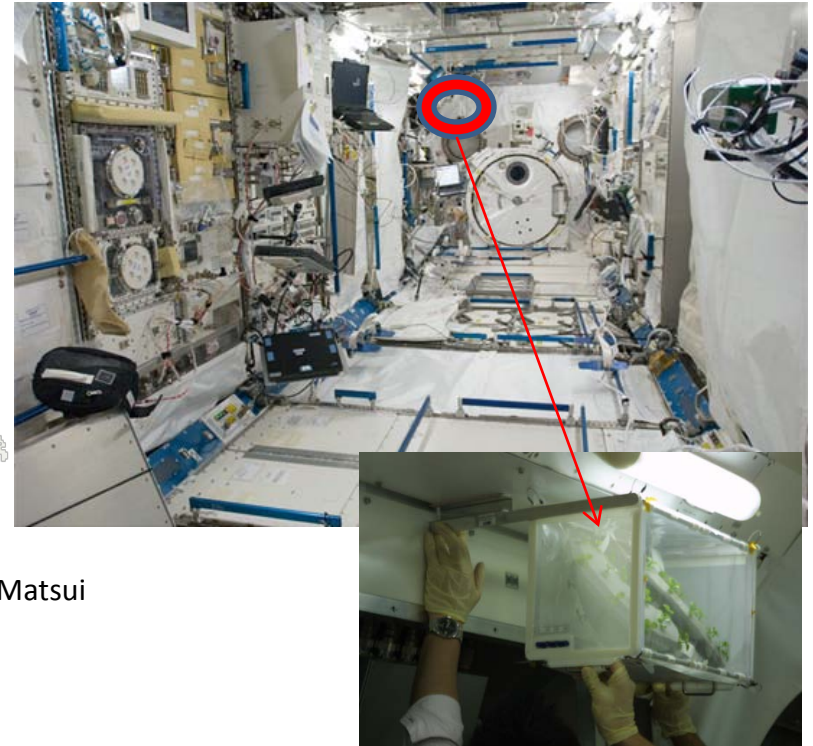
文化・人文社会科学利用パイロットミッション「宇宙庭」

3. 宇宙庭につけられた種子

- ・オニタビラコ
- ・カタバミ
- ・ヤブミョウガ
- ・ヘビイチゴ
- ・ムラサキサギゴケ
- ・ナデシコ
- ・セイヨウタンポポ
- ・ムギセンノウ
- ・レモンバーム
- ・ペパーミント
- ・ピンクケール
- ・コリウス



(C)Shiro Matsui



4. 宇宙庭のきぼうでの育成について

- ・ 宇宙庭専用ケースをきぼう内に設置し、その中で4つの栽培キットを栽培する
- ・ 栽培キットには、10日に1回程度の頻度で給水を行う。(栄養は、キット内に封入されているため、与えるのは水のみ)

5. 12月28日(月)に行う最初の給水作業について

宇宙庭の栽培キットに地上から宇宙へ持っていった水をいれる(給水)。また、栽培キット表面の培地(不織布)にも水をしみこませて、発芽環境を整える。